◆ 当商品をご使用になる前に必ず本取扱説明書を よくお読みください。

KAWAI

DIGITAL PIANO

PN470

取扱説明書

●同梱品
- □ 本体
- □ スタンド一式
- □ 椅子
- □ 電源コード
- □ 取扱説明書（本書）
- □ スタンド組立図
- □ 保証書
- □ ご愛用者カード
- □ アフターサービスと音楽教室のご案内

（全て各1部）

《ごあいさつ》

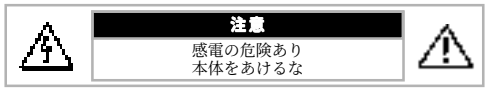
このたびは、KAWAI 電子ピアノをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。　本機は、ピアノの音色はもちろんオルガンなど全 8種類の音色で演奏を楽しむことができます。また、自分の演奏を録音する機能，音に残響効果を与えるリバーブ，伝統的ないくつかの調律法による音律セッティングなど多種多彩な機能を装備しています。さらに、電子楽器統一規格であるMIDI機能も装備していますので、他のMIDIを装備した電子楽器と接続してアンサンブル等、バラエティーに富んだ演奏にも対応できるようになっています。
本機の性能をフルに発揮させていただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

目次

◆ 安全上のご注意 2
1.各部の名称と働き 4
◆パネル図 4
◆ペダル 4
◆ ヘッドホン 5
2.演奏してみましょう 6
1）基本操作 6
◆セッティング 6
◆音色の選択 7
2）デュアル演奏 8
3）リバーブ / エフェクト 9
4）タッチカーブ 11
5）トランスポーズ 12
6）デモ曲の演奏 13
7）コンサートマジック 14
8）メトロノーム 19
3.録音・再生 21
1）録音 21
2）再生 24
3）曲の消去 25
4.設定モード 26
1）チューニング 28
2）音律の設定 29
◆ MIDI 機能の使い方 31
◆本機 MIDI 機能 32
3）MIDI 送信・受信チャンネル 33
4）プログラム(音色)ナンバー送信の ON/OFF 34
5）ローカル・コントロール 35
6）マルチ・ティンバー・モード 36
7）チャンネルミュート 37
8）プログラム(音色)ナンバー送信 38
5.付録 39
◆他の機器との接続 39
◆ スタンド組立図 41
◆ 主な仕様 42
◆MIDI IMPLEMENTATION CHART 43

◆ 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。

このマークは、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

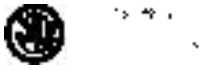
⚠	△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。
	○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う

●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
●発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

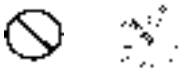


●感電の原因になります。

◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける,かける,こぼす）などしない

●漏電によって、感電や発火の原因になります。

◆本機を落とさない



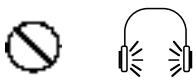
●運搬の際は、必ず２人以上で運んで下さい。

◆イスは次のように使用しない

●イスで遊んだり、踏み台にしない
●イスには2人以上で座らない
●イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
●イス組立時、ネジをしっかり締める

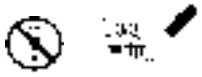
●イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない



●聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない



●故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

●落雷時に火災の原因になります。

⚠注意

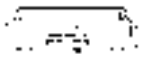
◆本機を次のような所では使用しない
- ●窓際など直射日光の当たる場所
- ●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- ●戸外など極端に温度の低い場所
- ●極端に湿度の高い場所
- ●砂やホコリの多い場所
- ●振動の多い場所

使用禁止

●故障の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

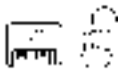
ゆっくりしめる



●いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

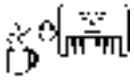
電源を切る



●本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない



●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない

もたれない

●本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

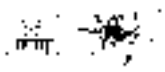
◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す

●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類はからまないように接続する

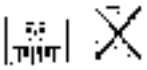
からまないようにする



●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン／シンナー禁止



●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない

●変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

●ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

■保証書について

●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

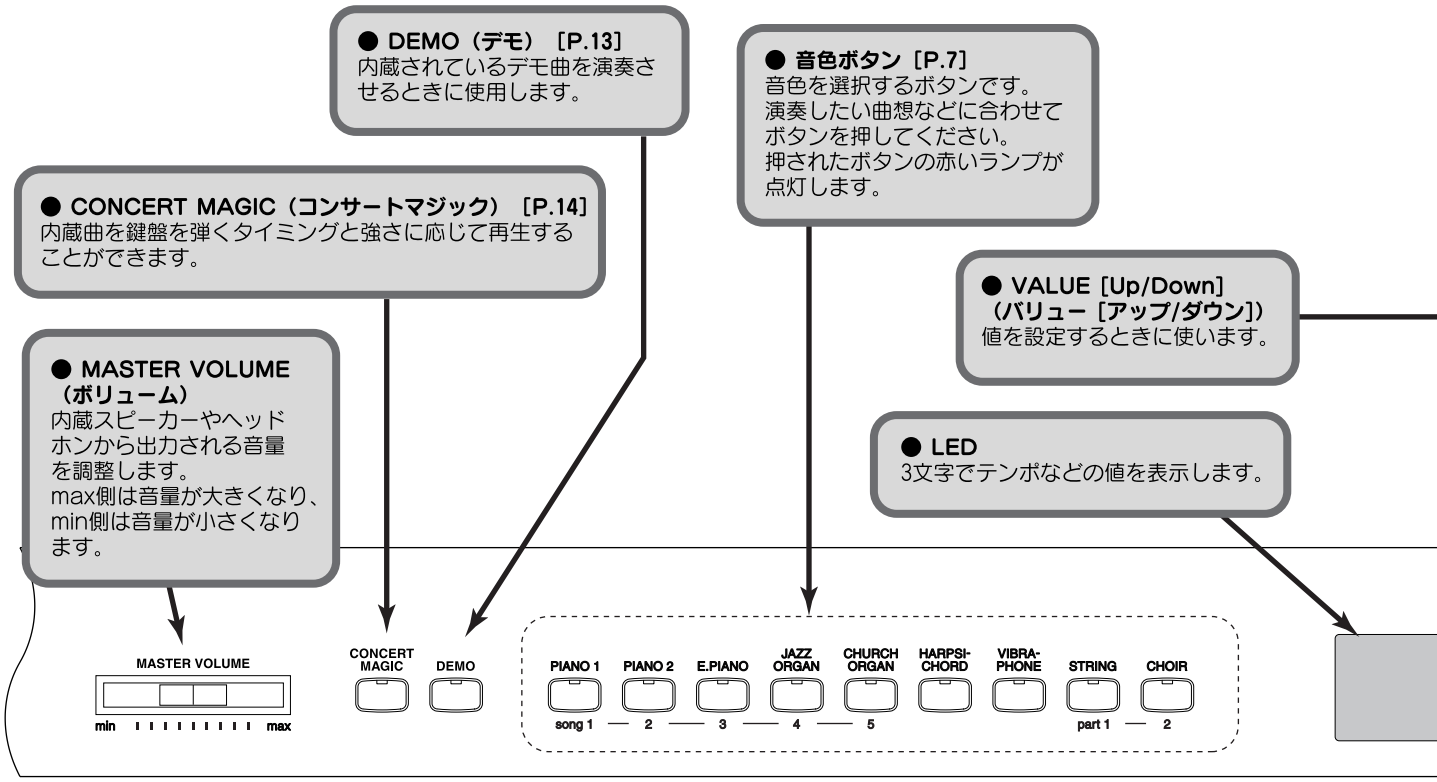
■修理について

●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

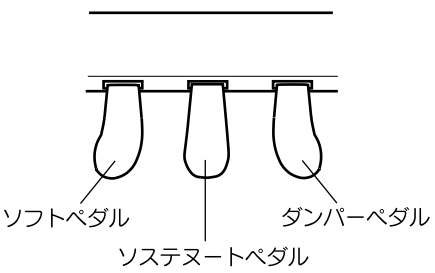
1.各部の名称と働き

電子ピアノに付いている、レバーやボタンなどの位置とその機能を説明します。

◆パネル図



◆ペダル



●ダンパーペダル

音に余韻を与えます。
ピアノの音は、鍵盤を押すとハンマーが弦をたたき、音が発音しますが、指を離すとダンパーが弦を止めて発音が止まります。
ダンパーペダルを踏むと指を離してもダンパーが弦を止めないため、音が止まらず豊かな響きが得られます。

●ソステヌートペダル

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。
従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

●ソフトペダル

音色がやわらかくなり音量も小さくなります。
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

● METRONOME ［TEMPO/BEAT］）［P.19］
（メトロノーム［テンポ/ビート］）
メトロノーム音を鳴らし、テンポ/拍子/音量を設定します。

● RECORDER［PLAY/STOP.REC］
（レコーダー［プレイ/ストップ.レック］）［P.21］
PLAY/STOP,RECの2つのボタンを使って、
あなたの演奏を録音、再生することができます。

● EFFECTS（エフェクト）［P.10］
コーラス効果、ディレイ効果、トレモロ効果、
ロータリー効果の選択をします。

● FUNCTION（ファンクション）［P.26］
TOUCH/TRANSPOSEボタンを同時押しで、
設定モードに入ります。

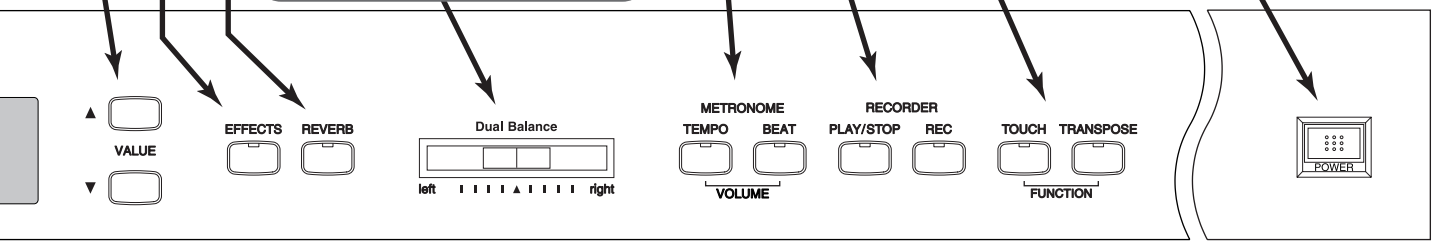
・TOUCH（タッチ）［P.11］
タッチの感度を切り換えるボタンです。
消灯でノーマルタッチです。

・TRANSPOSE（トランスポーズ）［P.12］
トランスポーズ機能を使えば、弾き方を変えずに
簡単に移調できます。調の異なる楽器とのアンサ
ンブルや、歌の伴奏をする時などに便利です。

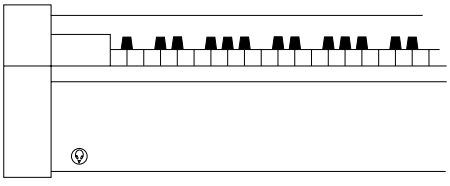
● REVERB（リバーブ）［P.9］
音にリバーブ効果（残響効果）を与
えることで、美しい響きが得られます。
3Dリバーブを選択すればより広がりの
ある残響が得られます。

● DUAL BALANCE
（ デュアルバランス）［P.8］
デュアル演奏する場合の2つの音色
の音量バランスを設定します。

● POWER（電源スイッチ）
電源をON/OFFするスイッチです。
ご使用後は必ず電源スイッチを切っ
てください。



◆ ヘッドホン



●ヘッドホン端子（2個）
別売りのヘッドホン（SH-5,SH-2など）を接続する端子です。ヘッドホンを2つまで接続できます。

2.演奏してみましょう

ここでは、電源を入れ音を出すまでの基本的な手順を説明します。

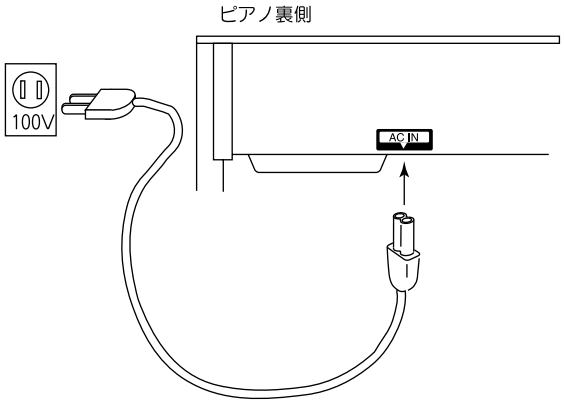
1）基本操作

◆セッティング

◇操作 1

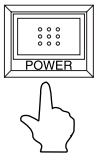
電源プラグを AC100V の
コンセントに差し込みます。

ピアノ本体裏側の AC IN と表示されている
部分の下面にジャックの差し込み口があります。

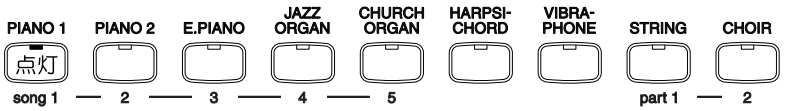


◇操作 2

POWER（電源スイッチ）ボタンを押して電源を
ON にします。

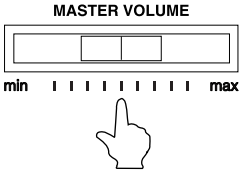


POWER ボタン を押すと音色セレクトボタン の PIANO 1と表示されている
ボタンが点灯します。



◇操作 3

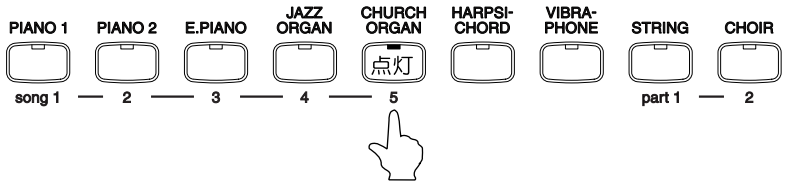
VOLUME レバーを中央付近にセットします。



◆音色の選択

◇*操作 1*

音色ボタンの中から好きな音色を選んで押します。



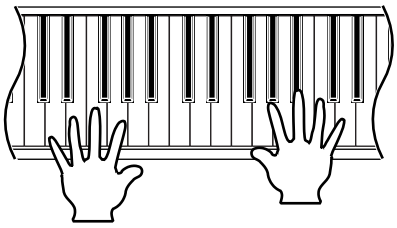
押された音色のランプが点灯し選択されます。
チャーチオルガンの音で演奏したい場合は、上図のようにCHURCH ORGANボタンを押して点灯させます。

◇ 内蔵音色

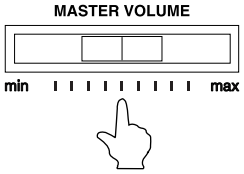
◆ PIANO1〔ﾋﾟｱﾉ1〕	**当社の最高級グランドピアノ「EX」の音です。**
◆ PIANO2〔ﾋﾟｱﾉ2〕	**ブライトピアノの音です。明るめなピアノの音です。**
◆ E.PIANO〔ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ〕	**エレクトリックピアノの音です。**
◆ JAZZ ORGAN〔ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ〕	**オルガンの音です。**
◆ CHURCH ORGAN〔ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ〕	**パイプオルガンの音で、教会などで賛美歌演奏に使われています。**
◆ HARPSICHORD〔ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ〕	**バロック音楽などで使われている別名チェンバロの音です。**
◆ VIBRAPHONE〔ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ〕	**大型の鉄琴の音です。共鳴管の美しい響きが得られます。**
◆ STRING〔ｽﾄﾘﾝｸﾞ〕	**弦楽合奏音です。**
◆ CHOIR〔ｸﾜｲﾔｰ〕	**人の合唱の声です。**

◇*操作 2*

鍵盤を弾いてみましょう。



鍵盤を弾けば " 操作1 " で選んだ音で演奏することができます。
音量を調節したい時は、VOLUME レバー でお好みの音量に設定してください。



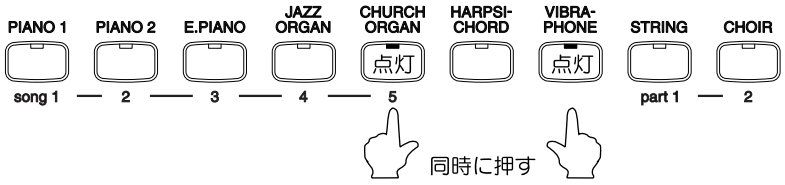
■複数の鍵盤を同時に押した時の発音数（同時発音数）は、最大 64 音です。

2）デュアル演奏

デュアル演奏は 2 つの音色を重ね合わせます。
2 つの音色を同時に発音され音楽表現の幅が広がります。

◇操作 1

2 つの音色ボタンを同時に押します。



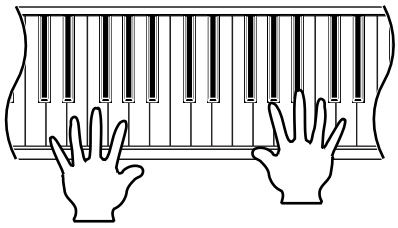
重ね合わせる 2 つの音色ボタンを両方押すと 2 つの音色ランプが点灯します。

チャーチオルガンとビブラホンの音を重ね合わせる場合は、左図の様な操作になります。

◇操作 2

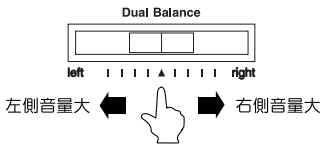
鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば選択した 2 つの音色が重なって発音されます。



◇操作 3

Dual Balance レバー で2つの音色のバランスを設定します。



左側に動かすと、パネル音色ボタンの左側音色の音量が大きくなります。
右側に動かすと、パネル音色ボタンの右側音色の音量が大きくなります。

◇操作 4

デュアル演奏の解除は、音色セレクトボタン をどれか1つ押します。

新たに音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

3）リバーブ / エフェクト

◆音に REVERB（リバーブ）効果を加える

◇ リバーブとは？

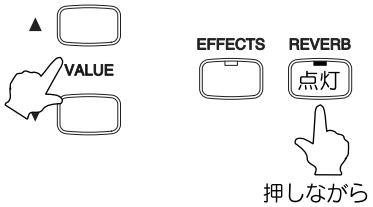
リバーブ効果を加えると、音に残響効果が加わり深みのある美しい響きが得られます。
本機では、以下の 5 種類のリバーブを用意しています。

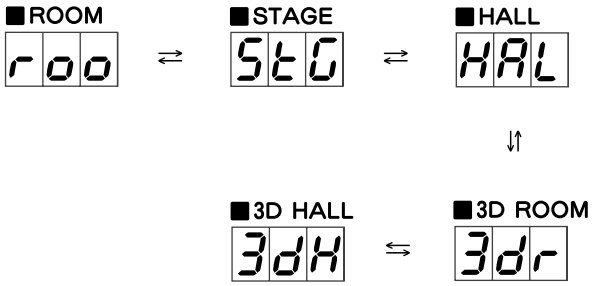
◇ ROOM	**室内で演奏している時の残響効果が得られます。**
◇ STAGE	**ステージで演奏している時の残響効果が得られます。**
◇ HALL	**ホールで演奏している時の残響効果が得られます。**
◇ 3D ROOM	**室内で演奏している時の残響に 3 次元の広がりを加えた効果が得られます。**
◇ 3D HALL	**ホールで演奏している時の残響に 3 次元の広がりを加えた効果が得られます。**

◇操作 1

REVERB ボタン を押しながら VALUE ボタン でリバーブの種類を選びます。

REVERB ボタン のランプが点灯します。





REVERB ボタン を押している間、LED に今選ばれている
リバーブの種類が表示されます。

REVERB ボタン を押して消灯させると、音色のリバーブ効果は解除されます。
再度 REVERB ボタン を押して点灯させると、前回選択していた種類のリバーブ効果が加えられます。

◆音に CHORUS（コーラス）／DELAY（ディレイ）1.2.3 ／TREMOLO（トレモロ）／ROTARY（ロータリー）効果を加える

◇ コーラス　元々の音にもう一つのピッチのずれた音を合わせることにより、音に広がりを加わえます。

◇ ディレイ　元の音に山びこ（エコー）のような反響音を加える効果です。
本機では3種類のディレイ効果を用意しています。

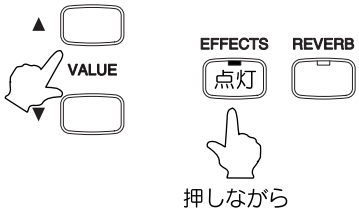
◇ トレモロ　音に " ゆらぎ " を与える効果です。ビブラホンの音にかけると効果的です。

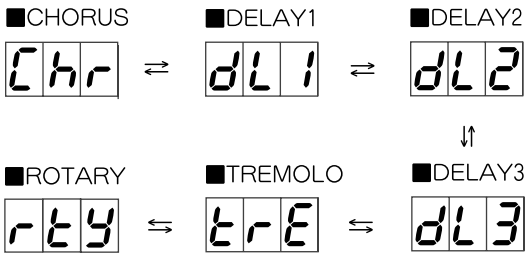
◇ ロータリー 回転式スピーカーを使って得られる効果です。
ソフトペダル（Page.4）を押すことによって回転の早さを切り換えることができます。

◇操作 1

EFFECTS ボタン を押しながら VALUE ボタンで効果の種類を選びます。

パネル上の EFFECTS ボタンのランプが点灯します。





EFFECTS ボタン を押している間、LED に今選ばれている効果の種類が表示されます。

EFFECTS ボタン を押して消灯させると、音色の効果は解除されます。
再度 EFFECTS ボタンを押して点灯させると、前回選択していた種類の効果が加えられます。

ロータリーを選ぶとソフトペダルでスピードを切り替えることができます。（P.4 参照）

4）タッチカーブ

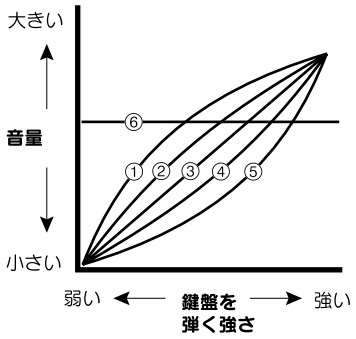
ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。
この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。
本機では、6種類のタッチカーブを装備しています。

①LIGHT2　：　弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
②LIGHT1　　小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きの
（ライト）　　タッチカーブです。

③NORMAL　：　アコースティックピアノと同程度のタッチで
（ノーマル）　　音量が変化します。

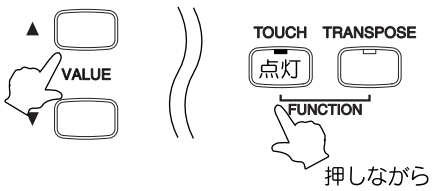
④HEAVY1　：　強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
⑤HEAVY2　　指の力の強い人や練習向きのタッチカーブです。
（ヘビー）

⑥OFF　：　タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
（オフ）



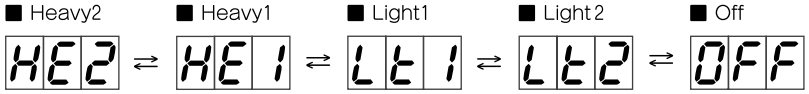
◇操作

TOUCHボタンを押しながらVALUEボタン を押して タッチの種類を選びます。



TOUCH ボタン のランプが点灯し、ボタンを押している間 LED に現在選ばれているタッチカーブが表示されます。
VALUE UP/DOWN ボタン を押して6種類の中からタッチカーブを選択します。

ここで選択したタッチカーブは、TOUCH ボタン のランプが点灯時に有効になります。
TOUCH ボタン のランプが消灯時は、NORMAL（ノーマル）に設定されます。

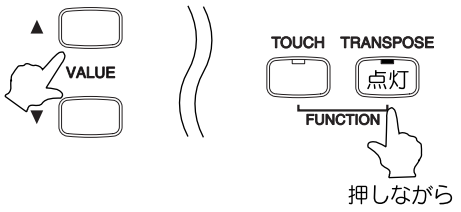


5）トランスポーズ

調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾き方を変えずに簡単に移調できます。

◇操作

TRANSPOSE ボタン を押しながら VALUE ボタン で移調させます。



-6, -5, -4, -3, -2, -1, **0**, 1, 2, 3, 4, 5
F#, G, G#, A, A#, B, **C**, C#, D, D#, E, F

TRANSPOSE ボタン のランプが点灯し、ボタンを押している間、現在セットされているトランスポーズの値が LED に表示されます。

電源 ON 時は「0」に設定され TRANSPOSE ボタン のランプは消灯しています。

VALUE ▲ ボタン を押す度に半音ずつ調が上がり、VALUE ▼ ボタン で半音づつ調が下がります。

-6 ～ 5 の間で設定できます。

◆ *TRANSPOSE ボタン のランプは、ハ長調（C）以外のキーにセットされている時に点灯します。*

例えば、ここで「-3」にセットしておき、TRANSPOSE ボタン のランプを点灯させれば、半音 3 つ分音が下がり TRANSPOSE ボタン のランプを消灯させれば、ワンタッチでハ長調（C）のキーに戻ります。

6）デモ曲の演奏

各音色に合ったデモ曲を合計16曲内蔵しています。
コンサートグランド音色のデモ曲は、有名なクラシックの楽曲です。
（下参照）
他の音色は、オリジナルの曲です。
それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。

- PIANO1 ：黒鍵のエチュード/ショパン
  ：アラベスク第一番/ドビュッシー
  ：トルコ行進曲/モーツァルト
  ：エリーゼのために/ベートーベン
  ：別れの歌/ショパン
  ：花の歌/ランゲ
  ：貴婦人の乗馬/ブルグミューラ
  ：幻想即興曲/ショパン
- PIANO2 ：オリジナル
- E.PIANO ：オリジナル
- JAZZ ORGAN ：オリジナル
- CHURCH ORGAN ：トッカータ/ジグー
- HARPSICHORD ：フランス組曲/バッハ
- VIBRAPHONE ：オリジナル
- STRING ：四季"春"/ビバルディ
- CHOIR ：オリジナル

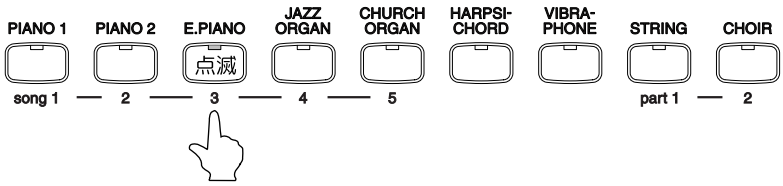
◇ *操作1*

DEMO ボタンを押します。

DEMO ボタンのランプが点灯し、音色ボタンが点滅します。
そのまま何も操作しなければ、ピアノ１の音色デモ曲が演奏されます。
ピアノ１のデモ曲演奏後は、各音色のデモ曲が順不同で演奏されます。
ディスプレイでは、最初の１曲目から８曲目までの曲ナンバーを表示します。

◇ *操作2*

操作1でデモ曲演奏中に、音色ボタンを押して、曲を変更することができます。



■ピアノ１のデモ曲は、8曲内蔵しており、順に再生されますが、PIANO1 ボタンを繰り返し押すことにより、次のピアノ曲を選曲することができます。

■押された音色ボタンのデモ曲を再生した後、各音色のデモ曲が順不同で演奏されます。再度 DEMO ボタンか PLAY/STOP ボタンを押すまで演奏を続けます。

◇ *操作3*

再度 DEMO ボタンか PLAY/STOP ボタンを押すと演奏が止まります。

7）コンサートマジック

コンサートマジックでは、鍵盤を押す度に曲の演奏を進めていくことができます。
誰にでも、（高度な曲が弾けない人にも）鍵盤を使って演奏を楽しむことができます。
本機には、コンサートマジック用に88曲の演奏曲を内蔵しています。

■EB：イージービート，MP：メロディープレイ，SK：スキルフルは、コンサートマジックの難易度を表わします。
（P.17参照）

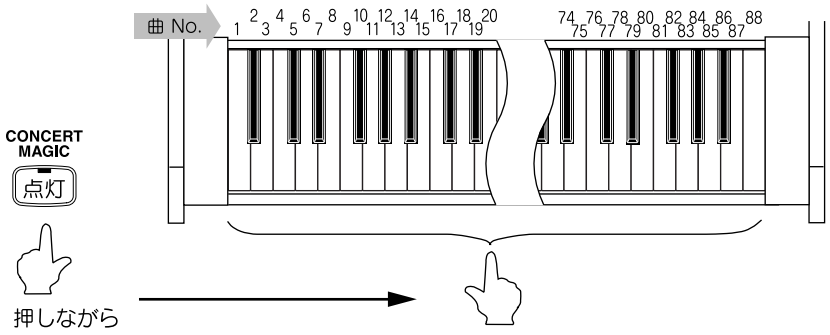
●子供の曲				
1	Twinkle,Twinkle,Little Star	きらきら星		MP
2	Mary Had A Little Lamb	メリーさんのひつじ		MP
3	London Bridges	ロンドン橋		MP
4	Pop Goes The Weasel	いいやつみつけた		MP
5	She'll Be Com' Around The Mountain	ほろ馬車がやってくる		EB
6	Frere Jacques	鐘の音		MP
7	Three Blind Mice	3匹のいたずらねずみ		MP
8	Ten Little Indians	10人のインディアン		MP
9	Brahm's Lullaby	ブラームスの子守歌		SK
10	Rock A Bye Baby	ねんねんころり		EB
11	Little Brown Jug	茶色の小瓶		MP
12	Polly Wolly Doodle	人まねオウム		MP
13	Turkey In The Straw	藁の中の七面鳥		SK
14	Ein Musicant	山の音楽家		SK
15	Old MacDonald Had A Farm	ゆかいな牧場		MP
●クリスマスの曲				
16	Jingle Bells	ジングルベル		MP
17	Deck The Halls	ひいらぎかざろう		MP
18	O Come All Ye Faithful	神のみ子はこよいしも		MP
19	Joy To the World	もろ人こぞりて		MP
20	The First Noel	牧人ひつじを		MP
21	Silent Night	きよしこの夜		MP
22	We Wish You A Merry Christmas	おめでとうクリスマス		MP
23	What Child Is This?(Greensleeves)	グリーン スリーブス		MP
24	Angels We Have Heard On High	荒れ野のはてに		MP
25	Amazing Grace	アメージング・グレース		MP
26	O Tannenbaum	もみの木		MP
●クラシック音楽				
27	Ave Maria	アベマリア	シューベルト	SK
28	Washington Post March	ワシントンポストマーチ	J.P. ソーサ	SK
29	Under The Double Eagle	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー	SK
30	American Patrol March	アメリカン・パトロール	ミーチャム	MP
31	Andante	びっくりシンフォニー	ハイドン	MP
32	Romeo And Juliet	ロミオとジュリエット	チャイコフスキー	SK
33	An Die Freude(Ode To Joy)	喜びの歌	ベートーベン	MP
34	Clair De Lune	月の光	ドビュッシー	SK
35	Skater's Waltz	スケーターズ・ワルツ	ワルトトイフェル	SK
36	Minuet In G	メヌエット　ト長調	バッハ	SK

37	Blue Danube Waltz	美しく青きドナウ	シュトラウス	SK
38	Sleeping Beauty Waltz	眠りの森の美女	チャイコフスキー	EB
39	Gavotte	ガボット	ゴセック	SK
40	Waltz Of The Flowers	花のワルツ	チャイコフスキー	SK
41	Toreador Song("Carmen")	闘牛士の歌	ビゼー	SK
42	Norwegian Dance	ノルウェー舞曲	グリーグ	SK
43	William Tell Overture	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ	SK
44	Can Can	天国と地獄	オッフェンバック	SK
45	Emperor Waltz	皇帝円舞曲	ヨハン・シュトラウス	SK
46	March Militaire	軍隊行進曲	シューベルト	SK
47	Grand March ("Aida")	凱旋行進曲	ヴェルディ	SK
48	Gymnopedie	ジムノペディ　1番	サティ	SK
49	Gypsy Chorus	ジプシーの歌	ビゼー	SK
50	Largo	新世界より家路	ドボルザーク	SK
51	Prelude In A	プレリュード　イ長調	ショパン	MP
52	Pizzicato Polka	ピチカート・ポルカ	シュトラウス	SK
53	Rondeau	ロンドー	ムレ	SK
54	Voice Of Spring	春の声	シュトラウス	EB
55	Allegro Moderato	未完成交響曲	シューベルト	SK
56	Habanera	ハバネラ	ビゼー	SK
57	The Entertainer	エンタティナー	ジョプリン	SK
58	Maple Leaf Rag	メープル・リーフ・ラグ	ジョプリン	SK
●アメリカのクラシック音楽				
59	Battle Hymn Of The Republic	リパブリック賛歌		MP
60	Yankee Doodle	アルプス一万尺		MP
61	Danny Boy	ダニーボーイ		EB
62	Clementine	雪山賛歌		MP
63	Home On the Range	峠の我が家		MP
64	Campton Races	草競馬		MP
65	When Johnny Comes Marching Home	ジョニーが凱旋するとき		MP
66	When The Saints Go Marching In	聖者の行進		EB
67	Old Kentucky Home	ケンタッキーの我が家		SK
68	Old Folks At Home	故郷の人々		SK
69	I've Been Working On The Railroad	線路は続くよどこまでも		EB
70	Grandfather's Clock	おじいさんの古時計		EB
●式典の曲				
71	Auld Lang Syne	蛍の光		MP
72	Bridal Chorus	婚礼の合唱		MP
73	Wedding March	結婚行進曲		SK
●世界の民謡				
74	Annie Laurie	アニーローリー		MP
75	Hava Nagilah	ハバナギラ		EB
76	Funiculi Funicla	フニクリフニクラ		SK
77	Santa Lucia	サンタルチア		SK
78	Fuchs,Du Hast Die Gans Gestohlen	こぎつね		EB
●日本の名曲				
79	Sakura Sakura	さくらさくら		EB
80	Momiji	もみじ		EB
81	Oborotsukiyo	おぼろ月夜		EB
82	Hamabenouta	浜辺のうた		EB
83	Yuki	ゆき		MP
84	Furusato	ふるさと		EB
85	Nanatsunoko	七つの子		EB
86	Fuyugesiki	冬げしき		EB
87	Muranokajiya	村のかじや		MP
88	Saushunfu	早春附		EB

◆ コンサートマジックの演奏

◇ *操作 1*

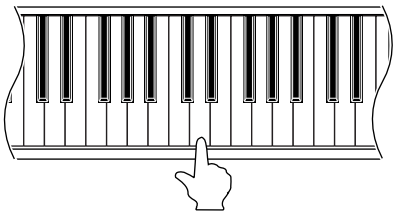
CONCERT MAGIC ボタンを押しながら曲が割り当てられている鍵盤を押します。



88曲のコンサートマジック曲は、鍵盤に割り当てられており、この鍵盤を使って曲を選択することができます。
（前ページ表参照）
ディスプレイには、曲ナンバーが表示されます。

◇ *操作 2*

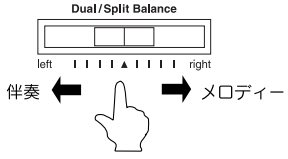
鍵盤を弾きます。



鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。
鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。

通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の 2 パートからできており、
Dual/Split Balance レバーで 2 パートの音量バランスを調整することができます。



◇ *操作 3*

再度、CONCERT MAGIC ボタンを押すと通常の演奏状態に戻ります。

◆ イージービート / メロディープレイ / スキルフル

コンサートマジック曲は、難易度別に3種類（イージービート / メロディープレイ / スキルフル）に分けられます。

◆イージービート

イージービートの曲は、一定のテンポで鍵盤を弾くことによって、うまく演奏することができます。
小さなお子様でも簡単に演奏を楽しむことができます。
（P.14/15　曲リスト右側に「EB」と記載されています。）

●鍵盤を押すタイミング（曲：七つの子）

◆メロディープレイ

コンサートマジックの曲は、「メロディー」と「伴奏」より構成されています。
メロディープレイでは、メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって、うまく演奏することができます。従って、メロディーをある程度知っていないとうまく演奏できません。
（P.14/15　曲リスト右側に「MP」と記載されています。）

●鍵盤を押すタイミング（曲：ゆき）

◆スキルフル

スキルフルでは、「メロディー」と「伴奏」両方のタイミングに合わせて鍵盤を弾かなければ、うまく演奏することができません。3つの中で最も難易度の高い曲です。
（P.14/15　曲リスト右側に「SK」と記載されています。）

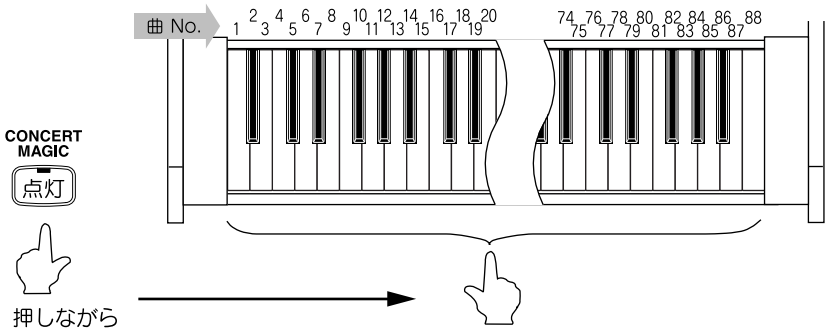
●鍵盤を押すタイミング（曲：花のワルツ）

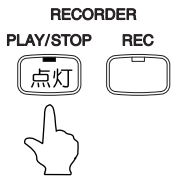
◆コンサートマジック曲の再生

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。
どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

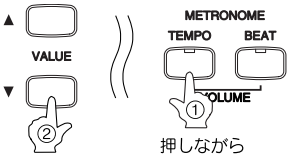
◇ *操作 1*

CONCERT MAGICボタンを押しながら鍵盤を押して選曲した後､PLAY/STOPボタンを押します。





選択された曲が、繰り返し再生されます。
演奏中、音色ボタンを押して音色変更ができます。
VALUE ボタンで曲目を変更することができます。
TEMPO ボタンを押しながらVALUE ボタンを押してテンポを調節できます。



◇*操作 2*

演奏を止めるには、もう一度 PLAY/STOP ボタンか
CONCERT MAGIC ボタンを押します。

CONCERT MAGIC ボタンを押した場合、通常の演奏状態に戻ります。

◆ その他の再生方法 （チェイン再生 / グループ再生 / ランダム再生）

※チェイン再生

CONCERT MAGIC ボタンを押した後、鍵盤で曲選択をせずに PLAY/STOP ボタンを押します。

1 曲目から 88 曲目まで順番に繰り返し再生します。

※グループ再生

DEMO ボタンを押しながら鍵盤を押します。

この場合、選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。
例えば、No.21 の「きよしこの夜」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.16 ～ No.26 のグループ「クリスマスの曲」を繰り返し再生します。

※ランダム再生

CONCERT MAGIC ボタンを押した後、DEMO ボタンを押します。

全内蔵曲を対象に、順不同に曲の再生をし続けます。但し、1 曲目は「きらきら星」です。

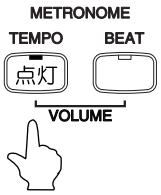
8) メトロノーム

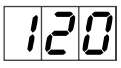
メトロノームを使って練習をしましょう。

◆メトロノームの発音とテンポ設定。

◇*操作 1*

TEMPO ボタンを押します。

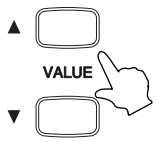




TEMPO ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。
LED にそのテンポの値が表示されます。

◇*操作 2*

VALUE ボタン を押してテンポの早さを設定できます。



LED にテンポが表示されている間、テンポの値を ♩ =30 ～ 300 の範囲で設定できます。(6/8 拍子のときは、♪=60 ～ 600)

◇*操作 3*

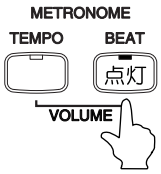
再度TEMPO ボタン を押すとストップします。

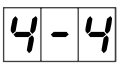
TEMPO ボタン のランプは、消灯します。

◆メトロノームの拍子設定。

◇*操作 1*

BEAT ボタンを押します。

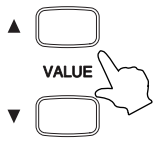




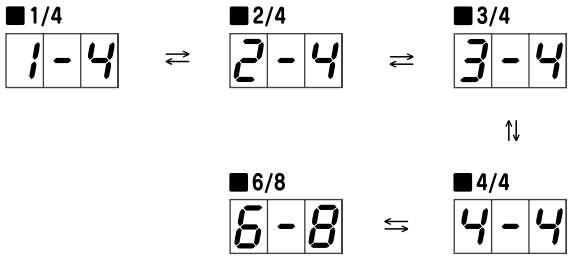
BEATボタン が点灯し、LEDにその拍子が表示されメトロノームが発音します。

◇操作 2

VALUE ボタン を押して拍子を選択します。



1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 6/8 拍子より選択することができます。



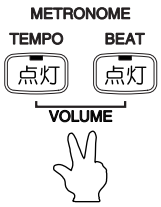
◇操作 3

再度 BEAT ボタン を押すと LED は、消灯しメトロノームが止まります。

◆メトロノームの音量設定。

◇操作 1

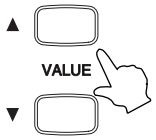
TEMPO ボタンと BEAT ボタンを同時に押します。



METRONOME（TEMPO+BEAT）ボタン が点灯し、
メトロノームが発音します。
LED にその音量の値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタン を押して音量を設定します。



1～10 の範囲で設定できます。

◇操作 3

再度 TEMPO ボタンと BEAT ボタンを同時に押すとランプが消え、メトロノームが止まります。

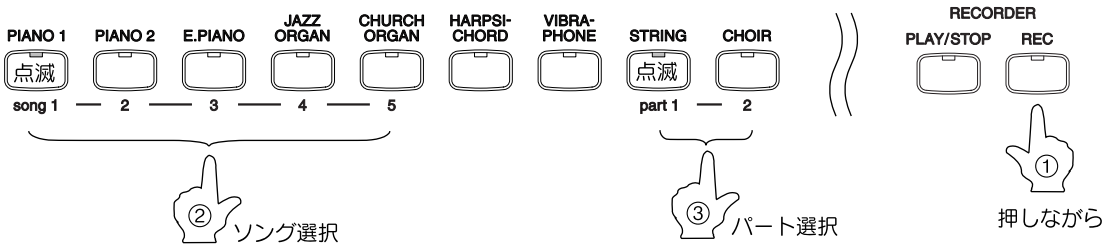
3.録音・再生

1）録音

本機では、自分の演奏を５曲まで、録音し再生することができます。
それぞれの曲（ソング）は、2つのパートから構成されており、1曲に2回の演奏を録音することができ再生時には、重ね合わせて再生できます。
録音は、録音する曲（ソング）の番号とそのパートを選択して行います。
SONG ボタンと PART ボタン は、音色ボタンに対応しています。

◇操作 1

REC ボタン を押しながらソングとパートを選択します。



REC ボタン を押している間、SONG ボタン とその PART ボタンが各１コづつ点滅しています。
この点滅しているボタンが録音の行われるソングとパートです。

（この時、SONG ボタン と PART ボタンを押して録音するソングとパートを変更できます。）

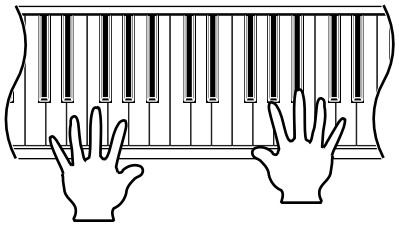
パートの選択をしないと自動的にパート１が選択されます。
この時、REC ボタン を押しながら PART2 ボタン を押してランプを点滅させパート２へ録音することもできます。

REC ボタン を離すと点滅していたSONG ボタン とPART1ボタンのランプが消灯し、REC ボタン のランプが点滅します。（録音待機状態）
また同時に音色のランプ（設定する以前に選択していた音色）が点灯します。
ここで録音を行う音色を設定できます。

◇*操作 2*

鍵盤を弾いて録音をスタートします。

(PLAY/STOP ボタン を押しても録音を開始できます。)



鍵盤を弾くと自動的に録音がスタートします。
このとき、PLAY/STOP ボタンと REC ボタン のランプが点灯します。

録音中の音色変更も記憶されます。

◇*操作 3*

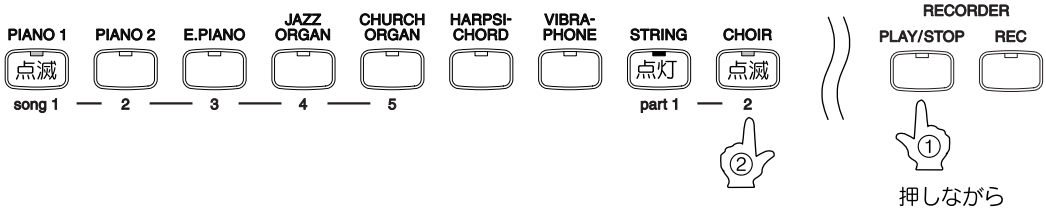
演奏が終わったら PLAY/STOP ボタン を押して録音を終了します。

REC ボタン と PLAY/STOP ボタン のランプが消え録音が停止します。

◆ひき続き、パート 1 に録音した演奏を聴きながら、パート 2 の録音をしてみましょう。

◇*操作 1*

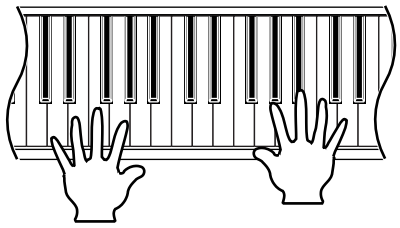
REC ボタンを押しながら PART2 ボタン を押します。



指定された SONG1 ボタン と PART2 ボタン のランプが点滅し、録音待機状態であることを示します。
また、PART1 ボタン のランプが点灯していますが、パート 1 の録音内容が再生待機状態であることを示しています。

◇*操作 2*

鍵盤を弾きパート 2 への録音を開始します。



鍵盤を弾くと自動的にパート2 の録音が開始され､同時にパート 1 が再生されます。
このとき REC ボタン　と PLAY/STOP ボタン のランプが点灯します。

鍵盤を弾かずにPLAY/STOP ボタンを押して録音をスタートさせることもできます。

◇ *操作 3*

PLAY/STOP ボタン を押し録音を終了します。

REC ボタンと PLAY/STOP ボタン のランプが消え、パート 2 の録音とパート 1 の再生がストップします。

◆ *レコーダーの総記憶容量は、約 5,000 音です。録音中に記憶容量が一杯になったときは、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。*

◆ *レコーダーに記憶した内容は、本体の電源を切っても消えません。*

◆ *パート 1 に既に録音されているソングのパート 2 に録音するとき、パート 1 の演奏を再生しないでパート 2 に録音したいときは、REC ボタン を押す前に PLAY/STOP ボタン を押し　VALUE ボタン を押してプレイパートを 2 に設定します。*

◆ *録音中のパネル操作に関して ...*

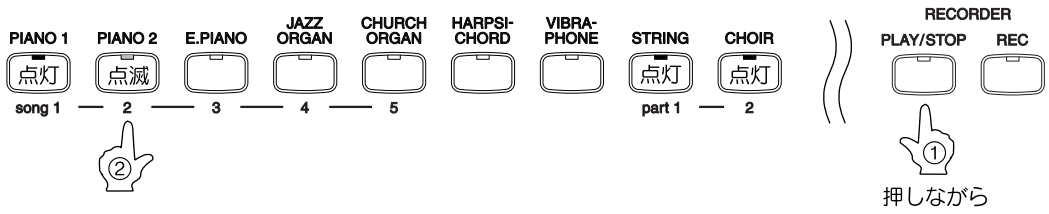
- *音色変更は記憶します。*
- *デュアルモードの移行は記憶します。*
- *エフェクト設定の変更は記憶せず、現在音色にアサインされているものがそのまま使われます。*
- *テンポ変更は記憶しません。*
- *デュアルバランスの変更は録音されません。録音直前のバランスで録音されます。*
- *タッチカーブ、トランスポーズボタンの ON/OFF 変更は、録音されません。*
  再生時はトランスポーズがどこに設定してあっても、録音したときと同じ音程で再生されます。

2）再生

録音した曲を再生します。

◇操作

PLAY/STOP ボタンを押しながら再生する SONG ボタンを押し点滅させます。



PLAY/STOP ボタン を押している間で再生されるソングボタンが点滅し、そのパートボタンが点灯します。
また、点灯している SONG ボタンが録音されているソングです。
PLAY/STOP ボタン から手を離すと再生が開始します。

ソング 2 を再生する場合は、PLAY/STOP ボタン を押しながら SONG 2 ボタンを押してランプを点滅させます。（上図）PLAY/STOP ボタン から指を離したらソング 2 の再生が開始されます。

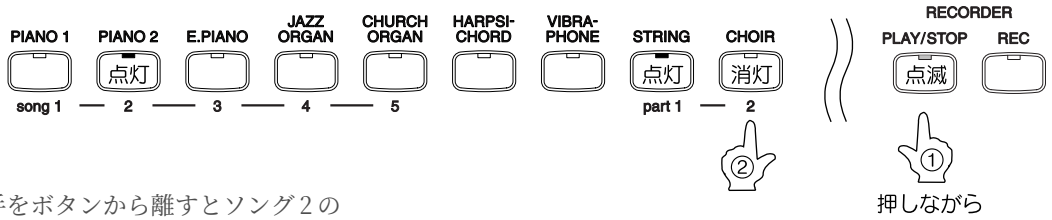
■再生中には、演奏情報は、MIDI データとして送信します。（P.33 参照）
パート 1 は 1ch, パート 2 は、2ch 固定で　送信します。
デュアルを録音したときは、パート 1 は 9ch, パート 2 は 10ch の情報を加えて送信します。

◆再生パートの選択

上の操作で PLAY/STOP ボタンを押した状態の時、パートのランプが点灯していると再生され、消灯していると再生されません。パート 2 を再生しないようにするには、下記のような操作になります。

◇操作

PLAY/STOP ボタンを押しながら PART2 ボタン を押し消灯させる。



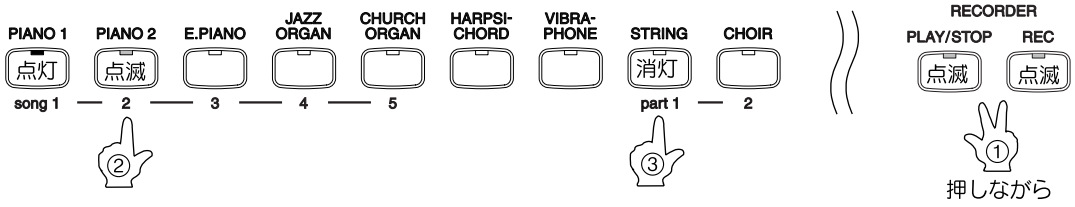
両手をボタンから離すとソング 2 の
パート 1 のみ再生されます。

3）曲の消去

ここでは、録音に失敗したり、いらなくなった曲をパート毎に消去します。

◇操作

PLAY/STOP ボタン とREC ボタン を同時に押しながら消去するSONGボタン とPARTボタン を選択します。



PLAY/STOP ボタン と REC ボタン を同時に押すと、現在選択されているソングのランプが点滅し、録音されているパートのランプが点灯します。
SONG ボタン を押してソングを選んだ後、消去するPARTボタンを押してランプを消灯させたら、そのソングのパートのデータが消去されます。

上図は、ソング2のパート1を消去します。

◆ *ソングを選んだだけでは曲は消去されません。*

◆ *複数のソングやパートを消去するときは、繰り返し操作を行ってください。*

◆ *録音されているすべてのソングを消去したい場合は、PLAY/STOP ボタンと REC ボタン を押したまま、電源を入れてください。*

4.設定モード

本機には、いろいろなピアノの演奏を楽しむために、いろいろな状態を設定することができます。
この設定を行う場所を " 設定モード " といい、この設定モードでは以下のメニューの設定を行うことができます。

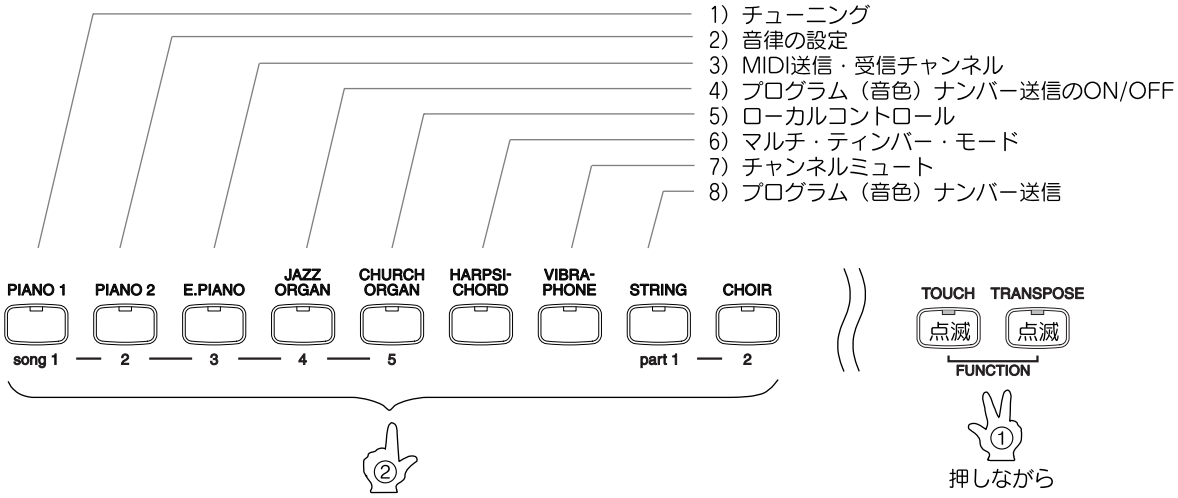
◇設定モードのメニュー

1) チューニング
2) 音律の設定
3) MIDI 送信・受信チャンネル
4) プログラム（音色）ナンバー送信の ON/OFF
5) ローカルコントロール
6) マルチ・ティンバー・モード
7) チャンネルミュート
8) プログラム（音色）ナンバー送信

◆ 設定モードへの入りかた

◇操作

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら
各メニューが割り当てられた音色ボタンを押します。

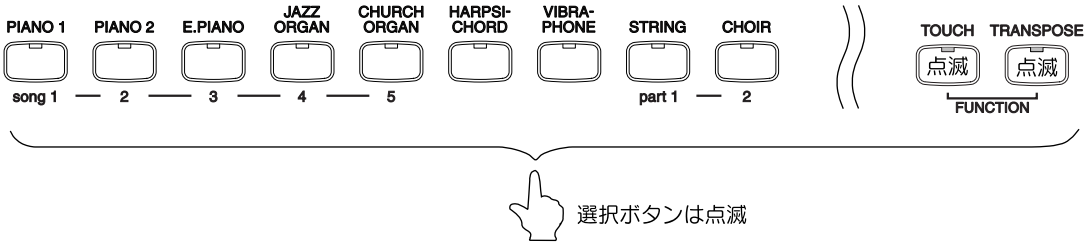


押された３つのボタンが点滅します。

◆ 設定モードの終り方

◇操作

TOUCH ボタンまたはTRANSPOSE ボタンを押すか、音色ボタンを押して音色を選択します。



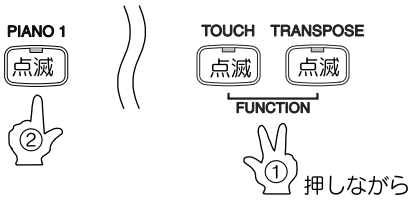
ランプの点滅が消え " 設定モード " から出ます。

1）チューニング

チューニング調整は、他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。

◇操作 1

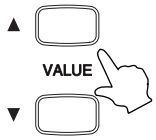
FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、PIANO1 ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタン で値を設定します。



本機では、『A』の音を基準にして設定をします。
427.0 ～ 453.0 (Hz) の範囲を 0.5Hz の単位で設定ができます。
表示は、百の位が省略されて十の位以下が示されています。

◆*この状態で鍵盤を弾くと、" 設定モード " にはいる前に選ばれていた音色が鳴ります。*
チューニング調整は、この音色を使って行います。音色を変えたい場合は一度 " 設定モード " から出て音色を選びなおしてから、再度 " 操作 1 "、" 操作 2 " の操作を行います。

◆*電源を入れた時は、440.0Hz に設定されます。*

2）音律の設定

ピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律を内蔵しています。
本機に内蔵されている音律の設定は、以下の通りです。

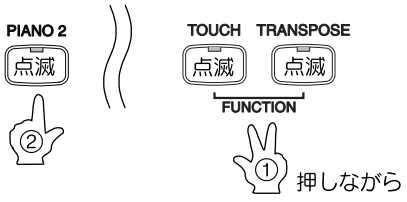
◆ 平均律（ピアノ）	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律（フラット）に従います。
◆ 純正律＜長調＞	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
◆ 純正律＜短調＞	純正律は、長調と短調で異なります。 長調と同様の効果を短調でも得られます。
◆ ピタゴラス音律	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特長です。
◆ 中全音律	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特長の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
◆ ヴェルクマイスター第Ⅲ法 **◆ キルンベルガー第Ⅲ法**	調合の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調合が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した " 調性の性格 " を反映することのできる調律法です。
◆ 平均律（フラット）	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特長があります。
◆ 平均律（ストレッチ）	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。

次より設定方法を説明していきます。

◇操作 1

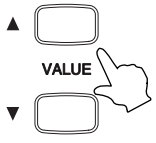
FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、PIANO2 ボタンを押します。

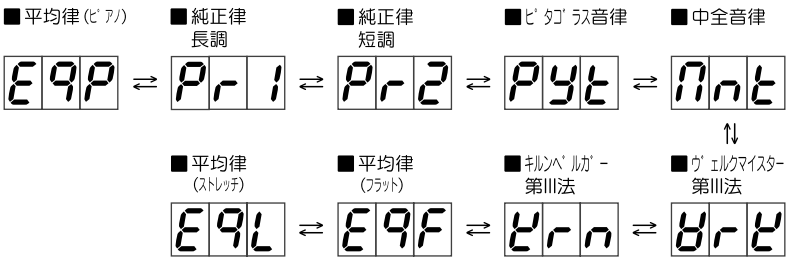
押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている音律が表示されます。



◇操作 2

VALUE ボタン で音律を設定します。

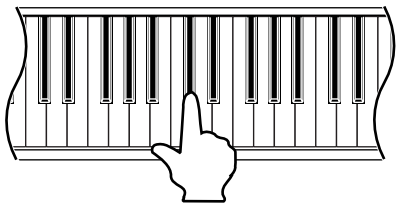


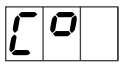


電源オン時は、平均律(ピアノ)に設定されています。
この場合、ピアノ音色を選択した時、自動的に平均律ストレッチ（ピアノの調律曲線を使った平均律）に設定され、ピアノ以外の音色の時には、自動的に平均律フラットに設定されます。

◇*操作 3*

鍵盤を押して、音律の調（キー）を設定します。

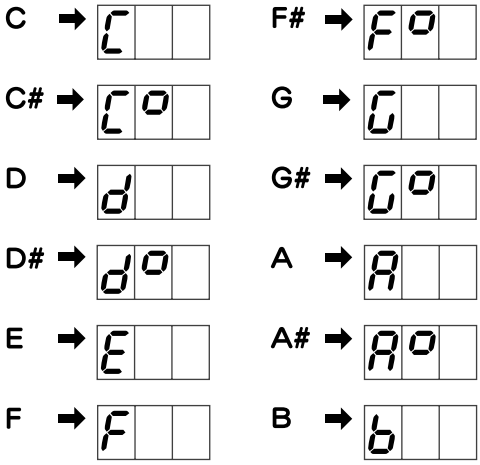




C# の鍵盤を押す。

設定は 88 鍵全部でできます。
鍵盤を押したら、LED に調が表示されます。

◆ *平均律を選択した場合は、調の設定をしても変化はありません。*



◆ MIDI 機能の使い方

ここで、MIDI について説明をしておきます。

◆MIDI について

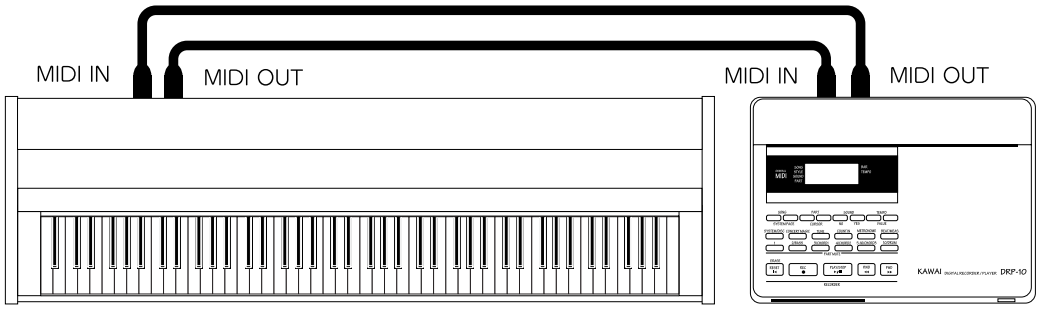
MIDI について簡単に説明します。
MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーや シーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

MIDI 端子には、IN，OUT，THRU の３つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

IN　：　鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT　：　鍵盤情報や音色情報を送信します。
THRU　：　受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの２種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。
受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

◇外部機器を使っての録音 / 再生



図の様にカワイの音源内蔵レコーダー「DRP-10」に接続すれば、電子ピアノの演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができ、電子ピアノの練習に役立てることができます。また、電子ピアノの設定をマルチティンバーオン（P.36 参照）にして録音 / 再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォーンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。
また、「DRP-10」の場合音源も内蔵してますので、その内蔵音色を使ってピアノ演奏を楽しむこともできます。

◆本機 MIDI 機能

本機の MIDI 機能は、以下の通りです。

◆ 鍵盤情報の送信・受信
電子ピアノを弾いてシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

◆ 送信・受信チャンネルの設定
送信受信チャンネルを 1 ～ 16 の範囲で設定することができます。

◆ プログラム（音色）ナンバーの送信
電子ピアノと MIDI で接続したシンセサイザー等の音色（プログラムされた音色）を電子ピアノ側の操作で変えたり、その逆が可能です。

◆ ペダル情報の送信・受信
ダンパーペダル、ソフトペダルのオン / オフ情報の送信・受信ができます。また、ソステヌートペダルの場合は、オン / オフの送信ができます。

◆ ボリューム情報の受信
シンセサイザー等を弾いて、電子ピアノの音を出しているとき、シンセサイザーで電子ピアノの音量をコントロールすることができます。

◆ マルチティンバーの設定
電子ピアノが受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことが出来ます。

◆ エクスクルーシブデータの送信・受信
フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

◆ レコーダーの再生情報の送信
レコーダーに録音した演奏を、MIDI で接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

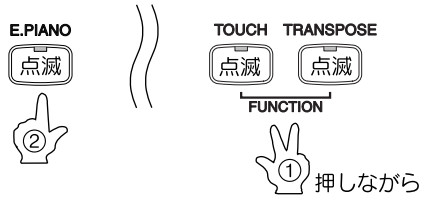
本機の MIDI 機能についての詳細は、" MIDI インプリメンテーションチャート "（巻末）をご覧ください。

3）MIDI 送信・受信チャンネル

接続されたMIDI楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。
チャンネルは、送信チャンネルと受信チャンネルの 2 種類がありますが、本機ではそれぞれ別々のチャンネルに設定することはできません。1 つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

◇操作 1

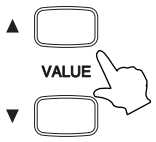
FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、E.PIANO ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。



1 ～ 16 の間で値を設定できます。

◆*本機は電源オン時には、1 ～ 16 のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで 1ch に設定したい場合は、一度チャンネルを 2 に設定してから 1 に戻してください。*

4）プログラム(音色)ナンバー送信のON/OFF

◆ 音色セレクト・ボタンによるプログラムナンバーの送信 / パネル操作の送信

本機では、通常の演奏中に8個の音色セレクト ボタン を切り替えることにより、下表のような1～8までのプログラムナンバーを送信できるようになっています。(マルチティンバーモードに設定したときは、下表の様なプログラムナンバーを送信します。)

また音色セレクト・ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作をMIDIエクスクルーシブデータとして送信することができます。

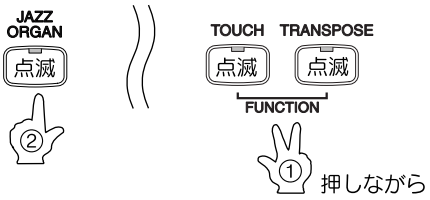
この音色セレクトボタンによるプログラムナンバーの送信やパネル操作の送信は、次の方法により送信するか、しないか（オン / オフ）を設定することができます。

◆音色に対応する送受信プログラムナンバー

音　色	送受信ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ・ﾅﾝﾊﾞｰ	
	ﾏﾙﾁﾃｨﾝﾊﾞｰ ON時	ﾏﾙﾁﾃｨﾝﾊﾞｰ OFF時
PIANO1	1	1
PIANO2	2	2
E.PIANO	5	3
JAZZ ORGAN	18	4
CHURCH ORGAN	20	5
HARPSICHORD	7	6
VIBRAPHONE	12	7
STRING	49	8
CHOIR	53	9

◇*操作1*

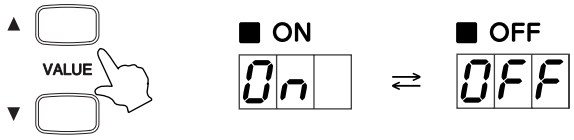
FUNCTIONボタン（TOUCHボタン+TRANSPOSEボタン）を押しながら、JAZZ ORGANボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LEDに現在設定されている値が表示されます。

◇*操作2*

VALUEﾎﾞﾀﾝで値を設定します。



電源オン時は、音色セレクト ボタン によるプログラムナンバーの送信は、自動的にオンにセットされます。

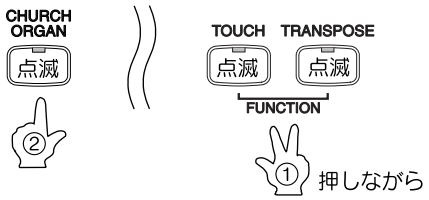
デュアルモード時には、デュアルモードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。(マルチティンバー ONのときは、送信します。)

5）ローカル・コントロール

このモードは、本体の鍵盤を弾いて音を出すか、出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン / オフモードと呼びます。
ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。
一方、ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らず MIDI 情報を MIDI OUT し、外部からの MIDI 情報を受信したときのみ音が鳴ります。

◇操作 1

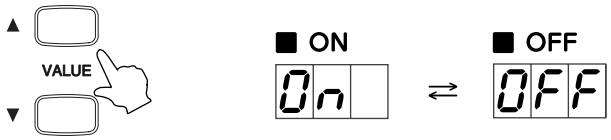
FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、CHURCH ORGAN ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。



◆ *OFF に設定した場合、鍵盤を押しても音はでません。*

◆*電源オン時、ローカルコントロールは、オンに設定されています。*

6）マルチ・ティンバー・モード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報を送信受信しますが、マルチ・ティンバー・モードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。

この機能により、外部にシーケンサーなどをつなげて、本機1台で複数の音色（マルチ・ティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。

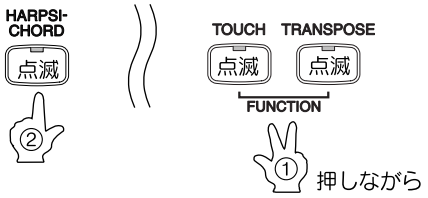
本機では、マルチ・ティンバー・モード をONに設定すれば、各チャンネル毎にプログラムチェンジ情報を受信することによってP.34の表のに従った音色変更をします。
表以外のプログラムナンバーを受信した場合は、発音しません。

また、チャンネルミュートの設定をすることができます。（P.37参照）

◇操作1

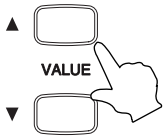
FUNCTIONボタン（TOUCHボタン+TRANSPOSEボタン）を押しながら、HARPSICHORDボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LEDに現在設定されている値が表示されます。

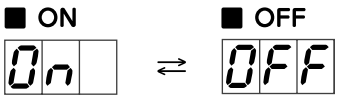


◇操作2

VALUEボタンで値を設定します。



OFF/ONより選びます。



マルチ・ティンバー・モード がオフのときに、MIDI情報を受信すると、そのとき選ばれていた音色セレクトボタンの音色が鳴ります。

マルチ・ティンバー・モード がオンに設定されると、受信したプログラム・チェンジ・ナンバーに従って音色が発音します。
また、受信チャンネルごとに発音のオン / オフを設定することができます。（P.37参照）

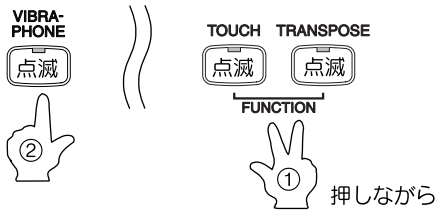
◆*電源オン時、マルチ・ティンバー・モードはオフに設定されます。*

7）チャンネルミュート

各チャンネルの発音のオン / オフが設定できます。
マルチティンバーモード　オンの時のみチャンネルミュートの設定ができます。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、VIBRAPHONE ボタンを押します。

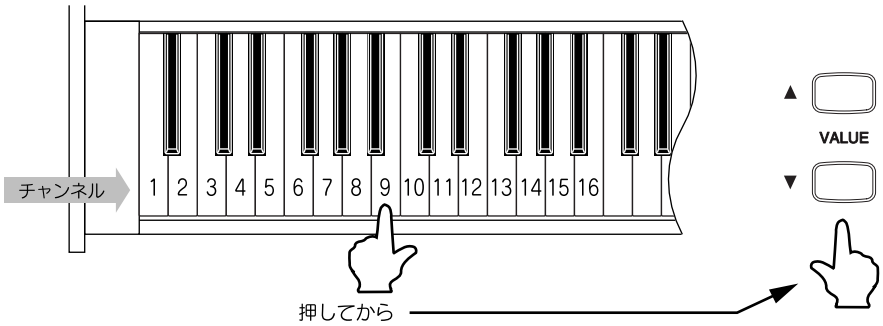


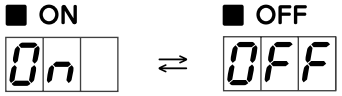
押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

■マルチティンバーモードが、OFF のときはこのモードには入れません。

◇操作 2

左端から 16 個の白鍵でチャンネルを押してから、VALUE ボタン で ON/OFF を設定します。





◆この状態では、鍵盤を押しても音はでません。

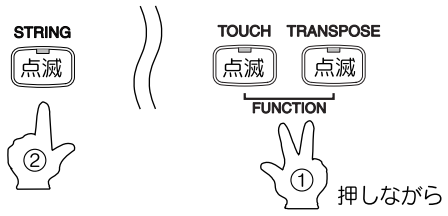
◆電源を入れた時は、1ch が ON で、2 ～ 16ch が OFF に設定されます。

8）プログラム(音色)ナンバー送信

本機では、1～128 までのプログラムナンバーを送信することができます。

◇操作 1

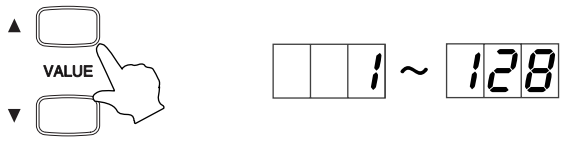
FUNCTION ボタン （TOUCH+TRANSPOSE ボタン）を押しながら、STRING ボタンを押します。



押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

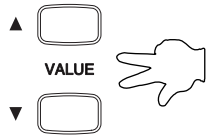
◇操作 2

VALUE ボタン でプログラムナンバーを設定します。



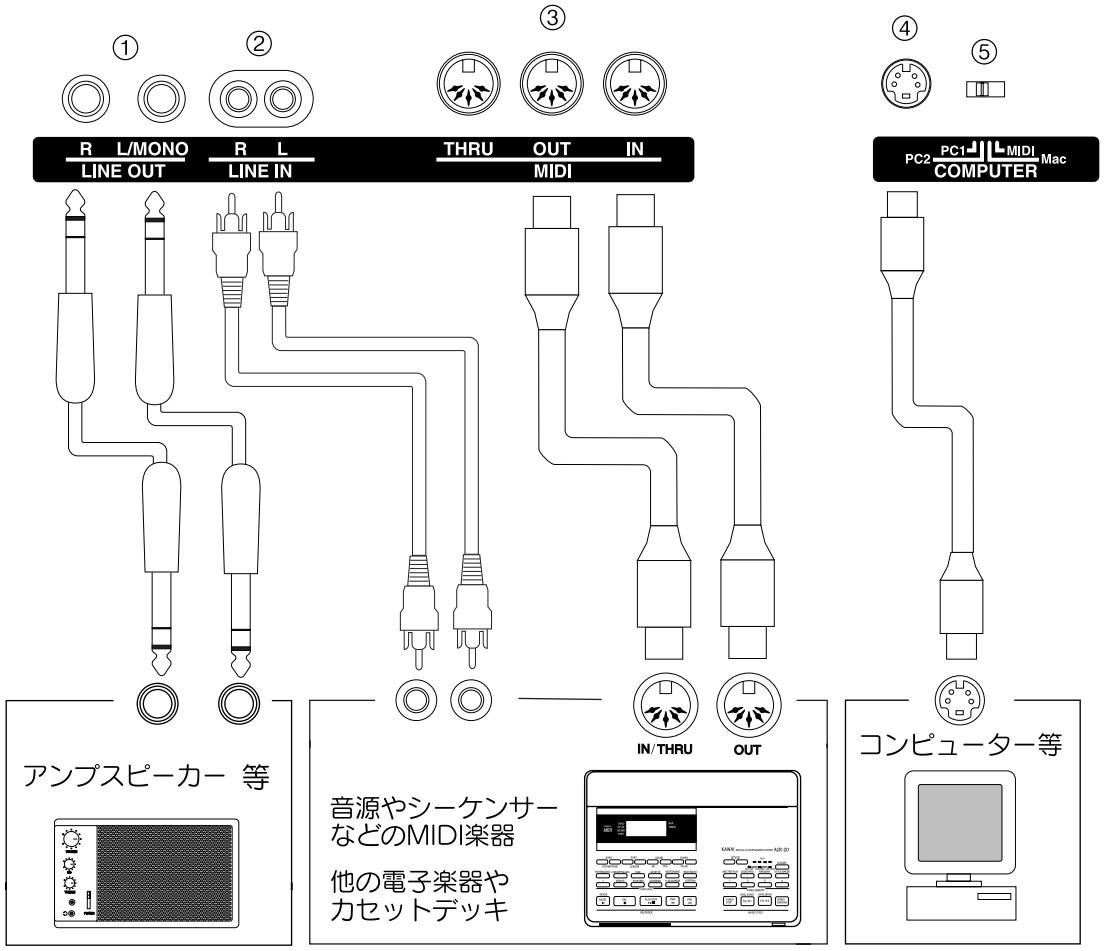
◇操作 3

2 つの VALUE ボタンを同時に押すとプログラムナンバーの送信が実行されます。



5.付録

◆他の機器との接続



> ⚠ **注意** 本機のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。
> 発振音が発生し、故障の原因になります。

①LINE OUT（ライン出力端子）＜標準ジャック＞
本機の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、テープデッキに録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。R（アール）は右側、L / MONO（エル/モノ）は左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOにのみプラグを接続したときに出力されます。

②LINE IN（ライン入力端子）＜ピンジャック＞
他の電子楽器やカセットデッキなどの出力端子とこの端子を接続すると、本機の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。この場合、本体のボリュームでは音量を調節できませんのでそれぞれの機器側で調節してください。R（アール）は右側、L（エル）は左側の入力を示しています。

③MIDI（ミディ）
MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

④COMPUTER INTERFACE（コンピュータ接続端子）
別売りの専用ケーブルで接続することで、直接パーソナルコンピュータとMIDIデータをやりとりすることができます。

⑤COMPUTER（コンピュータ）
コンピュータ接続端子を利用して、直接コンピュータと接続するとき、コンピューターの種類に応じて切り換え設定をします。

・Mac：マッキントッシュのコンピューターと接続の場合
・MIDI：MIDI端子を使用する場合
・PC1：NEC（PC98シリーズ）のコンピューターと接続の場合（NXシリーズ除く）
・PC2：DOS/Vの互換機（NEC NXシリーズ含む）と接続の場合

■USB機器と接続の際は、USB対応MIDI Interfaceを介して、MIDI端子と接続してください。

Apple Macintoshシリーズ接続用ケーブル

■mini DIN, 8-pin, male **■mini DIN, 8-pin, male**

mini DIN,8-pin,male		mini DIN,8-pin,male
HSKo 1		1 HSKo
HSKi 2		2 HSKi
TXD- 3		3 TXD-
GND 4		4 GND
RXD- 5		5 RXD-
TXD+ 6		6 TXD+
GPI 7		7 GPI
RXD+ 8		8 RXD+

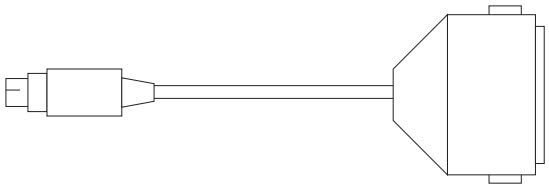
IBM PC/ATシリーズ接続用ケーブル

■mini DIN, 8-pin, male **■D-sub, 9-pin, male**

mini DIN,8-pin,male		D-sub,9-pin,male
HSKo 1		8 CTS
HSKi 2		7 RTS
TXD- 3		2 RXD
GND 4		5 GND
RXD- 5		3 TXD

NEC PC9800シリーズ接続用ケーブル

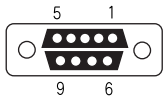
■mini DIN, 8-pin, male **■D-sub, 25-pin, male**



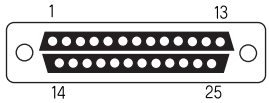
mini DIN,8-pin,male		D-sub,25-pin,male
HSKo 1		5 CTS
HSKi 2		4 RTS
TXD- 3		3 RXD
GND 4		7 GND
RXD- 5		2 TXD

■mini DIN, 8-pin, male

■D-sub, 9-pin, male



■D-sub, 25-pin, male

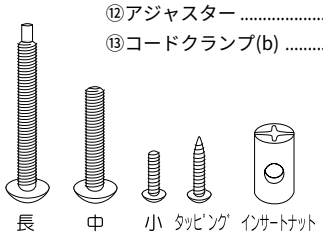


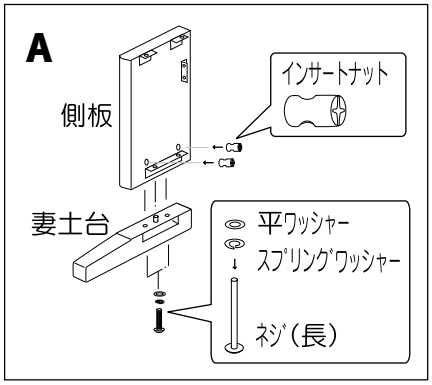
◆ スタンド組立図

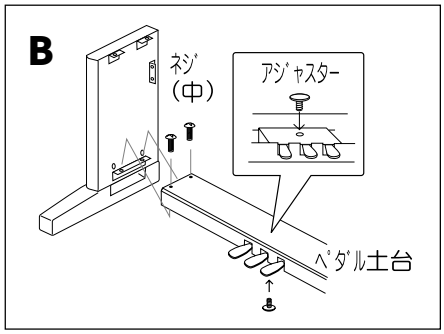
この度は、カワイ電子ピアノをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
この説明書を一通りお読みになり、パーツがすべて、そろっていることを確認されてから、床やスタンドを傷つけないように注意して組み立ててください。

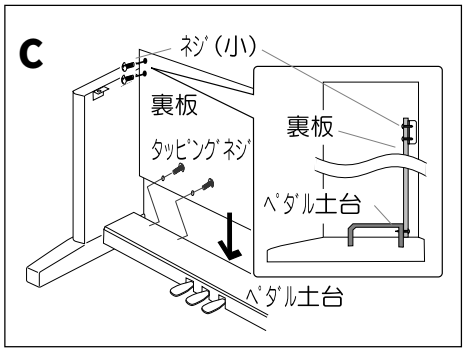
■パーツ（同梱品）

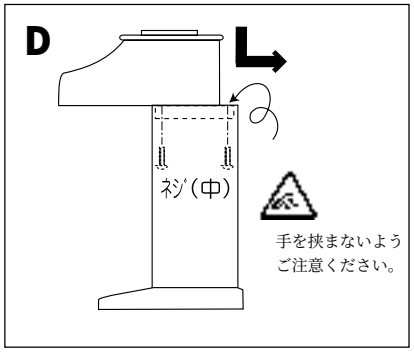
①側板 ..... 2（左右）
②裏板 1
③ペダル土台 1
④妻土台 ..... 2（左右）
⑤ネジ（長） 4
⑥ネジ（中） 8
⑦ネジ（小） 4
⑧タッピングネジ 4
⑨インサートナット 4
⑩平ワッシャー 4
⑪スプリングワッシャー 4
⑫アジャスター 1
⑬コードクランプ(b) 1

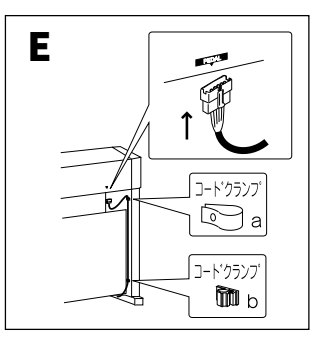


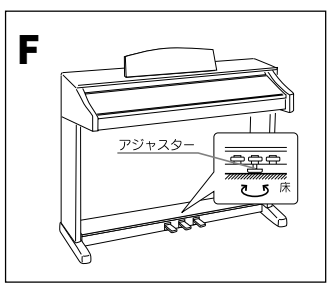












■組み立て順序

A
側板にインサートナットを2個入れ、インサートナットの穴が下側を向くように、ドライバーで調節します。

B
側板と妻土台を2本のネジ（長）で固定します。
平ワッシャーとスプリングワッシャーを図Aの様に挟みます。
側板と妻土台は、左右あるので組み合わせに注意してください。

ペダル土台の裏側からアジャスター（高さ調整ネジ）を1cmぐらいはめこみます。また、ペダル土台に結ばれているペダル接続コードをほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。

側板とペダル土台を4本のネジ（中）で固定します。この時、側板とペダル土台を密着させて取り付けください。

C
裏板を側板に取り付けます。まず、ネジ（小）4本で上部を固定してから4本のタッピングネジで下部を固定します。
この時、側板と裏板にスキがないように密着させて取り付けてください。

D
本体をスタンドに静かに載せます。真上から見て、本体の後ろに金具の穴が見えるくらい本体を前方に載せます。
スタンドを固定して、本体が傾いて落ちないように一方の手で前部を支えながら本体を後ろにスライドさせると、本体のフックが側板の金具に引っかかります。この時、本体の後ろを支持している手を、側板と本体の間ではさまないように注意してください。

⚠ 注意 また、必ず2人以上で作業してください。

本体とスタンドを4本のネジ（中）で固定します。
まず、ネジを軽く締めて、4本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。

⚠ 注意 必ず本体とスタンドをネジで固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち、大変危険です。

E.
ペダル土台から出ているペダル接続コードを端子の突起部を手前にして本体のペダル端子に差し込み、a,b のコードクランプでとめます。(aコードクランプは、ネジをはずしてからはめてください。bコードクランプは、コードが適当な位置になるような場所に裏面のシールを剥がして取り付けてください。)

F.
ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。

◆ 主な仕様

■ **鍵　盤**	88鍵　/　アドバンスト・ハンマー・アクション
■ **発音数**	最大64（音色により異なる）
■ **音　色（9音色）**	ピアノ1/2、エレクトリックピアノ、ジャズオルガン、チャーチオルガン、ハープシコード、ビブラフォーン、ストリング、クワイア
■ **効　果**	リバーブ（ルーム、ステージ、ホール、3Dルーム、3Dホール）、トレモロ、コーラス、ディレイ1/2/3、ロータリー
■ **音　律**	平均律（2）、純正律（2）、ピタゴラス音律、中全音律、ヴェルクマイスター第Ⅲ法、キルンベルガー第Ⅲ法
■ **その他の機能**	ボリューム、トランスポーズ、チューン、デュアル、デュアルバランス、テンポ、デモ（16曲）タッチカーブ、メトロノーム、コンサートマジック
■ **レコーダー**	2トラック×5ソング、総記録容量　約5,000音
■ **メトロノーム**	1/4、2/4、3/4、4/4、6/8拍子
■ **ペダル**	ダンパー、ソフト、ソステヌート
■ **外部端子**	ヘッドホン（2）、ペダル、MIDI（IN、OUT、THRU）、コンピューター接続端子、LINE IN（L、R）<Pin>、LINE OUT（L/MONO、R）＜Phone＞
■ **出　力**	40W×2
■ **スピーカ**	16cm×2
■ **キーカバー**	スライド式
■ **定格電圧**	AC100V、50/60Hz
■ **消費電力**	70W
■ **仕上げ**	ブックソロモン
■ **寸　法**	［W×D×H］139×50×88（cm）　　スタンド含む
■ **重　量**	59Kg
■ **付属品**	専用椅子 WB-11D / 電源コード / 取扱説明書（本書） / 保証書

Date : Aug , '99
Version : 1. 0

◆KAWAI［Model PN470］MIDI IMPLEMENTATION CHART

ファンクション	送 信	受 信	備 考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	1 1 ～ 16	1 1 ～ 16	
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	モード1 * モード1,3	* 電源ON時オムニ・オン。 MIDIチャンネル設定操作によりオムニ・オフ。
ノート ナンバー 音域	15 - 113 ** ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	0 - 127 15 - 113	** 15-113 トランスポーズを含む。
ベロシティ ノート．オン ノート．オフ	○ 9nH v=1-127 × 9nH v=0	○ ×	
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ．ベンド	×	×	
コントロール チェンジ 7 10 11 64 66 67	× × × ○（右ペダル） ○（中ペダル） ○（左ペダル）	○ ○ ○ ○ × ○	ﾎﾞﾘｭｰﾑ ﾊﾟﾝﾎﾟｯﾄ ｴｸｽﾌﾟﾚｯｼｮﾝ ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾍﾟﾀﾞﾙ ｿｽﾃﾇｰﾄﾍﾟﾀﾞﾙ ｿﾌﾄ ﾍﾟﾀﾞﾙ
プログラムチェンジ 設定可能範囲	○（0 - 127）	○	(ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾁｪﾝｼﾞ対応表参照)
エクスクルーシブ	○	○	
コモン ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル クロック タイム コマンド	× ×	× ×	
その他 ローカルON／OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○*** ○ ×	*** マルチティンバーモード ONの時
備 考			

モード１：オムニオン、ポリ　モード２：オムニオン、モノ
モード３：オムニオフ、ポリ　モード４：オムニオフ、モノ

○: 有り
×: 無し

株式会社 河合楽器製作所 電子楽器事業本部 〒430-8665 浜松市寺島町200番地 TEL 053-457-1277, FAX 053-457-1279 http://www.kawai.co.jp

9908
Printed in Japan